

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 足立石灰工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒718-0006 新見市足立3893番地	
本票作成	部署名：技術統括部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	石灰関連製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		新見市足立3893番地	
	②	岡山営業所		岡山市北区西古松237番地126号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.8 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	143,519 t CO ₂			223,896 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	本社工場		(エネ起量)54,417 / (非エネ起量)89,098 t CO ₂					
	②	岡山営業所		(エネ起量)4 / (非エネ起量)0 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 プロセス起源のGHGは完全に生産量運動の値となるので、管理可能数値の省エネルギー法 で言う燃料由来のGHGを生石灰生産数量で除した原単位で管理する。	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		514	505
		kg CO ₂ / (t CaO)	kg CO ₂ / (t CaO)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

生石灰業においては非エネ起源のCO₂等の削減は、意図的に減産をするしか方策はなく、経済合理性の観点からも許容は出来ない。発生したCO₂等の捕捉技術の導入は、零細な一企業では不可能であり、国又は自治体の積極的な関与がないと実現はしない。従って、企業としては管理可能な要素である省エネ手法の導入や代替燃料への転換等によるGHGの削減を目指していく。尚、上記削減目標とした原単位の基準年と目標年の原単位の内訳は下記の通りである。[基準年]エネ起源原単位514、非エネ起源841 [H24年]エネ起源原単位505、非エネ起源845、生産量比は1：1.57である。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネルギー推進本部

(本部長：社長／担当部署：生産部／関連部署：営業部、総務部／監査部署、事務局：技術統括部)
環境負荷の低減に関しては、保安マネジメントシステムに組み入れて活動。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社工場	電気設備 ①特別高圧受電用変圧器 (5,000kVA) を高効率に更新 (平成12年度、90,000kWh/年) ②ポンプ、ファン、ブロワー等回転制御機器のVVVF化 (～平成21年度、50,000kWh/年) ③照明機器の高効率化 (平成13～14年度、1,440kWh/年) か焼設備

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
本社工場	①再生油使用比率向上の推進 (平成22～26年度、原油換算1,000kl) ②バイオ燃料導入検討 (平成22～24年度、原油換算2,000kl) ③高効率型変圧器導入の推進 (平成24～26年度、10,000kWh/年) ④低燃費焼成炉への生産シフト (平成22年～24年、原油換算1,000kl)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	バイオ燃料生成副産物を、か焼設備燃料としての利用化検討
その他	無	

【その他特記事項】

目標年度 (平成26年度) における温室効果ガス排出量223,896 t-CO2の内訳 エネルギー-起源CO2量 (=エネ起量) 83,689 t-CO2 非エネルギー-起源CO2量 (=エネ起量) 140,207 t-CO2	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--